曽我物語　12冊　寄別13-17　11-001
国立国会図書館

曽我物語巻第十一目録

そうじゅうこうのもうしの事
ちうやとうぞくの事
あふのつかさ
ちうの事
ちうの事
ちうの事

曽我物語巻第十一

箱根参詣の事

そもそもこのごんこうは年ごろ月ごろあんれんしてゐるゆゑに、
世のうきなかふかつかぬ月日もうつりさてさのふ
くふとしをへどもとりわけなるもとすぐれをやうくたち
ぬまいぶんをうけ、ちやうもんのもとにてい女づ
くしのあるぞうんちよ衣どうらくぞうやうもんゆゑ
くぐるすあるせんさわ風一人ぐしすこぞめれ衣り。
同じいろのけさ袋のてぬぐひまようらくとさ
てうりし人あるさうろ。ぬのものそとみまぶぞ命ごうほよ
くのひ一大いそのうくへぐまてくぐるくれもやにゆさ。
ちろれ亦に立へつるひをせいひろうぶんくこの百り日

曽我物語 12冊 寄別13-17 11-003
国立国会図書館

のりうやうたいそうすてとうとうされどくぶつとれば
ちこくの巻山まくわるべしとうあるはうりうへんぢ
仏ぢ　ゆをもちやうりんゆ拾ひとなることをもそう
法井でありて一りのみづをもさしげそやとおりひ
まいりうくはやいひけまで冊さうてう拾ひしうる
ゆもおりまんあるぶ十郎ものしかうへんをはやそて
ぐんざんよのぎとなまこうすこのうがそありく
うひのたりぶこんぶ十郎ゲすこどろへさらへんまで。
いろしたものうひじょうこあぐうなのとふこはうう
人をおりぶりのこけりうゆのうをうらうひうを
しこもみこびぶ海のうろ拾ひあうたぞみゆまで
どこうたなるまいぶりうをゆはなりまたぶをうはおりうう。

曽我物語　12冊　寄別13-17　11-004
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　11-005
国立国会図書館

なるべき御ぞうり時をうつしかと。
男のひんなるようにきてきたびべきたにとうとくかてふ
ぐさまをさまなりで。義経ゆうもいりでらるる
るものの布ーさまよ十郎あさうしびろなりーるみれば。
たべき十郎めむしろのんらーしたなつーくこうふとおくく
繕はせ給ひべどーくとみ男の教ゆーぬようにぐんざんー
さびうとくごうまーも源をとおーーりがうこうて御ーどう
まーーるくーみっーびーとにめもれ松のゆをとこのふ
れさうーしゆくへばなれんへのはためもきうべうびこの
ーびのはびーじのはーをーよびひさーめてーといひもて
ーどおうーぶれうおりをのべくーーーいしあさ拍まて。
こまてーぶ指ーーうを袖をみるーびーとにん

みーう我はぞや。元もはーーびのはーをーよーうむけてーー男
八十郎ーーのーーーー義経へまーーん袖つーーーれりの飛
ーーー

曽我物語 12冊 寄別13-17 11-007
国立国会図書館

[illegible]

[illegible]

[illegible]

曽我物語 12冊 寄別13-17 11-009
国立国会図書館

曽我物語 12冊 寄別13-17 11-010
国立国会図書館

やうれいをとらるおせばぞうこんぐのあげきにあらばげ
ふくしゅうごうとへてもおひうんのあるまじき別
のみちぞあげきうのみもとうりゅう新ぎしくそはぬを
つくしとおぼし給ふぞんぢ給ふ歳よあるもも。
大りきのきゆうこんのはんぐーして。弟にのこ新くしてを
こんおひうあてゆくべくぶこうまとあはせぜん
ちーきとりしただ給んのずのきざるめもだくたいすてはぞしぞやうにと
こうあるしのこらよ入のひろぐよれんなくてざやじ
ろいこんぐぞれを古来せんうんようじぞやうじこと
そかりつきをとばざづるりあひぞうまへてあく給んをもて
給ぞぐこんくとうらめとうひ給つぞん

いのまうこうとゆくぞうこんぐのごうつくべうびおかがち
をとおろしてこうぞのぬとまうざうをもたぞんばまうがを
れうをとうしてぞのあるてくく数まとんにのぐれのぐべ。
きうをばず一のこいのそはぞのはにきりやうかりけまうて三
づのごうつくべ給ぐぞやのひうあるてくくとこあやうに数ぐれり

あにのよきうくう

ひうーてんぢくまぞうーもといふあにまぞんのあるまうう
ぐつまぞんぞ百人のよとうちぞをあーおりんきくぞのく
いのうちをうるぞごうぐーやのぐにぞにあやうあるまう
みとぞこのきそうくうつぞぞくしぐうーぞんうまをとう
ぐーこまりりめぞいくぐーしてひせうやうをとうめんを
くぞうぞ来ずーれるせうをうそんぐやうぐ給てぞうせうれよや

曽我物語　12冊　寄別13-17　11-011　国立国会図書館

さぜんのひろうはうれがよ百まんりやうにはよれ中よりはに
てうあひろうをはらうしいひてぽんぜ〳〵ぜんとれ
ーまけまじぱちうべーとて五百人のあとをとるも。
はちうれちうまうしうしはうしうしはうしうしは

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きやくこもこれうぐひうりうひあなりしゆ顔もうしたさに
いうりぞうんいのこやうこそこあらむとでよちあこのてん
ぶんまでせめのがりこしうまごうがちやとゆるきべく
ぶるのしそのの時たひしゆくぜんがりだうよたてこまり。
みんまうこあうをどしはひつぞしゆまるれあんを
むまびきうぞうがこうこうぞんぎゆくあのごとくに
ありてぶるぞしの雑ひたてきとこのたらてぐされ
たごうあんつきざれだぞよりこがうけうまと
つこへうりぞうもたこうしゆ仏者ぞよとあしのぞあう
とこあるこのこあしびかりきのどくなりぞやうり
こさぶんだるぞずいきとれどうくのごくはあつこの
ちんありうこや

曽我物語　12冊　寄別13-17　11-014
国立国会図書館

くしてひとりて俳諧する事

かくて別當はいのもとをたのもうじとりあつまれりんとー
ぜんのひまをみあはせこれにいとまをくりけるきはのはいかく
人じんとうけぶーびをあつまりどれ程ぐびいと三ぼにいと
あぐーぼりけりとぜんちーきとうひぎやうごと程ぐ
りんとおのうこうびうにべこすでよりうれかうきんと
ゆ程へばたのこあみこいやうくうこ那さけるへがし
うそはただしどみなりべきまたのこびたぐんぼのうてゆと
もろ時にいうでうこうぎあうれそうこいむかーうんと
お前ハてうはひのじこまうてぼこうひたれおうこ程ぐ一
きかうこうこひきまうべーぼ瀬のあうきうこうちとこやうし
ゆーせうそぐちぼうだうのこやうぐんせよぎあぐでんのうう

そもそもとぶ鳥ぐくけぢ三ぢのひろうぶ〜ハづのたうれけう
者とさて男かぐ〜とうわ〜ぞふひろうぶそのちもど
のそう〜うちなつまり給ふぶ御あり〜といふとう
とぐいこうぶせうめうぞん八ぢうんとぶごうとうんりぐく
まぶ〜給ふ〜ぶ平てんぐれうさだよぶ郡しぶ四
じぐくまぶのうちうんとのりうりうぶ給ふうく
すぎうぶ〜うぶたうかぐまぶのりがまてぐが給いぜんの
う給うちゆしぜめれうぶ〜ぶたうう給へぶまづぶ
なみぐよむせびつぶせうかうのぶてうもいぐ給うど。
ぶくまうく別者ぶうことぶさへぶかぶさとさげそれ
者うぐどのみちぐとうけてぶ給ふのうよ
ううぜんぶんだんうひとぐぐぶいうんをいうの

うれようぐぜんニ年よ給んのゆめなうきれ月とそう
ゆうとわゆよ男だんのうまへべのなしひとうぐんじ
てぐしやゆりゆとなうなのまんれゆうぐうぶ。
ゆたとむうへクべとそうりてぐいきうのたうわうた
えゆんうんうんきうまうぐやゆぐうれ百日のぐげいせ
ようそうりぐゆわ〜うのうりてなれうゆ〜さゆ者てま
にとうれぐ〜これとようまうゆ〜きぐうんうのうて
ゆりうんぐとうとうかぐのうまへゆ〜ぶうせうぐやう
とう〜とゆうをなれぜんぐゆのさうゆよゆうふるゆげ
者ぶうゆりびれ行〜ゆんぶうるうゆ〜ぶをあのべ
川つまくとうれ給ふ〜ゆやうゆゆのぐと〜ぶ行う百年
のよりひとをたるたんぐんぐ〜ゆうゆゆのぐと〜ぶ行う百年

ぢうのそひとをうんぱのちゑのうへのなりのごとしだが
そのいこれらの鳥ひしくさりてさうよおあのごとさ
ゆりのハニ〜びみ〜どさうのいうくくくくくくだ。
うしゐ〜きうかやちやくたーのとんどんのけうをを
をを〜ぐあ〜きうかやちやくたんまかうとうれぐちやくれと
ぐ〜どうけばくやうるとハあとたをくとゑたぐまざかく
ぢうのうだ〜をを〜かりびをんあいれんとあやまを
たぐれうくらうせんのせかくとまあうまんごをてようて
ちそうとをよどくいくぐくのるまぐやこれぐくあり
ぢいりぐをとをのさたぐいくぐくめとかさぐてぢう
〜とをかよぐうゆうくれむかゆびとありてこう
ちんをとうそふをばをんそあかくくいあぢうつうる。

ぢうて今あんぞぐうぐうたんんやぐ〜ぐうりてをを一ゆ
きたをとうゑのくうやせんぐニがいむあんゆあよんうくと
みをばぐうぐうとうをゆめくぐをとけをちくれあく。
いくんやげをんぐをんせんのくるぐぐくくのつくくろ
うくぐきをちくるくくくとまう〜ぐうをてうほ
くをとそをべ〜ぐをひきくくくぬぞをあうあるぐうきくれる
くんくくくうあくくくちくくんけくくれぜんくうんぞ。
たいををうくををちぐくくくくくくくくくくくくくで一せいをんちう
ぞ月あひくくうあるあるぐどうくあ七月なうぐの
くくぐんれそんをうたきをうなんとあくくたぐだ
そくれくるぬくとよくとうくきなくくうくうぐを移ばあやの
きぞをくんぐくれくくれくくれくくをあくにさ

曽我物語　12冊　寄別13-17　11-017　国立国会図書館

そへたりしをんとをとこのよあかしといひわき二このあひだにうくたびとしをんはこるものとみくこうたいるのよあこうあとうめんとつて四とうこ
四郎とうりむまうこ河ぶうのゆこうりざのやとろて天地四つうといをんていそうあをとようけあへそこなひやぶーぶるとうこれそうめうんぶやうかうのみくろようつまれーうりあるまでうちやにをもとにたるのーくのあやれなーひ狩りのあとうるとバちーびーてよれせいをんを称ひーぎしこのとんをとていまーぎうりうをみうびーしーぶーにうれうあ。さまニバけうきやうよりくぶーたんうこーしもうーうーくーハちうーくーしたうとうーびそんちんた

ようまとう称ーうりぶーくえとりくたいをのとんをこ中まのハニちんあれをぶ母のあげうもせつあわをなーれあなりぶくのあやのまとうこあをこはうまみうぶとろうあるみもぶとあーくかうこまなりうをうあーうこはいくをこうだのいあんむままぶるあくれはしこうーぶたいようむーるぶをくちうはもちうあ人ーの四じこうやうだいといをを中れあーうこをあるどうしびあるーいーうをうちくだのむーーうぶれむつーるたくひあーーちやうぶーーやうぶんのいーへうもちびーさうるまくるものむーーうにうぶはあにやーのをそのーしぶーくさ紫の鶴とうこ称ーうぶ

でうれせんアやうぐんらくこうれ二人のゆぐうれのかね
のちのかねうそおりーくるぬーくゆぐようせ給つぐく
ゆためーしもわまぐばぎゆ
おどろくでうまわーびぐ今うぐんらやうれゆ給ぐんくの
きゆせうこのうーくぐやうぬうれとどしどうそうそみるぐ
ようとうおーうこうぬーしてゆるようなてぐんぐ年うぐ出ぐし
めすーめうまいおやうまれわうまのゆぐうまうだいの琴り
のうりなれと一云のぐてゆみあうれわうてなげうぐ
ぐ一ーからうやうれうぐるうぐうとてまりて移やうり
うせぐんアーやうれうんの月そーようあ三年れるぐーを。
うちまちつうぐうこきちんゆうんのかりてぐーうんのーくり
あーゆ給うもすううぐなみぐたりとようかうとんぐ

やうらんのうかひうそーうぐれ抱うぐなりれうぐうひあ
うううれう移のうーあぐうくうとあうくべーかどうにどあうぐ
あうようみまーばぐれうーんくうとそりぐぐぐうあう月う
げうとぐんぐうーくまうちえそうもみーあうもうげうあうこうれや
あうーびぐうまぐでなくうぐうぐうあうあじ四ーとふうあうえん
別れしの別れ思ひうーうわうぐうもむりーもうんてうようぐうみ
ちなうまーばうひあうぐうううゆ給ぐーぐのたうのぐんそうの
あううううひうもうぐうんにーうぐ給ぐうらうぐうれううにつうさ
ゆんぐんうつうれううううくうとおりんぐーもぐうぐよ
かううううーうこの月うまうーんうまうとうひうまうとうーつうり
つうきてうもぐ芝代とうんぐ一ぐうぐうぐうのうんうもむ
ううびわうぐうくゆんりんうとうぐうのうぐうとうぐうぐせ世の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

曽我物語　12冊　寄別13-17　11-021
国立国会図書館

あくいわばこそ為うとそひやせん
男なりさあ汝人のしゝ和ば
といふあらたくこれりーとくとまうまうとぞ出さう
くろ帥しやうよいと面をとこひびへよとゆきがさを
ちゝせびぺぐ一人あるうぺひうてわうあさかうう
しあとうげたぐいあのくらしてぐうあたそろへささ
つまくろと出さこが祇されぐひひのかそ。
うんやうさうれくべのくつうよとあゝどたゆかう
あつうかみぐのきうりんぐんどやうれてさ第とそもう
なりてよあつうちりのうぺ。ぺちちよもたうもいひつべ
しぺさくしもなうべさうれわゝさまどぐあくく母を
そぐ母てぐひしぐぺうゝハたいそようへんとひぐたうも

あ郎よわうきーしうちーたぽかごりあーうてそん。
さてとひゝびのひ孔ずすなりがてくんぺそゆられ
いさぐあてーやうぐなりうつべーぺみたいそれうあく
ぎんのぽんいぐーしてせよもぐまくくなへぽくくく
あてこたゝどぞつーひ孔へとあひせ祇されぽぐゝもな
みぐとあうへくぺ孔すとうあ孔りしるぽ。ぽちんかぐ
りんのぐさなりけきぺなうあるうう祇のみちぽつうれたこ
たりくうんこーけきぺぐうたうこもてーうきを
れいおきくこのたうとつまうんりいぽうとのんのいちう
ぐやこそいの孔ひけきぺ
えんあぐ。ぺうれます
さあ行ようゝぐんぐれみうれとりうぺ第とうつ

よてんぢくまぬのじやせこうといふたりつれ
れとしやりじやすれたるとさげ給ふ時ひとをの
はうつりあにへけまぶそうぞうとんーやうーや
まで十方ごくのあづとんくぼうとりを
まひりこてよひんあうとんあなりぷうみもしてこの
そうこやうのぞうよへこやとうひけまどとわさくみえ
いこあこずもこてこうれひんあれば一そうれちうう
こあーだみぎとなぐーぷいうけとうづんをまたうれ
りでどうぐいうちこうしぷづうーうことうるせう
二りんあぞうりたりうごまこてややうひけまこ給
ぐーとうのぜたてくのやうく一そううりてぐ載
くうはぷ紙ぜんごういうりけまぶ首みどうとたうよと

りたんへのあうこぷ一そうばぐみとうりーう孫こうぷ義
見れうどのうこめーこまとうてぷのそうこやれこる
みなれうーこりぷんぐーとこうんこんたあこやぷり
ーこのぜたうくーうれくぐびのそうこやうを一どに
ぬうこうーきりこまどひんあ女が一そうぐりいこしび
こうこうぷくまんみーぐたあぐーみーけここてなぐ坊
給ひけまれここぐりこりぷその時りくまんれようひ
こうこぷりくーのそうこやうれこあう中ーぷうなまぐば一
そうここぐるやーこせこへばれの給つぷなぐーやせま
のまんどうのむうりどこうこうなう孫ととひんあが
んぐーれみうれうをなうくはこうんぐこあこぷまんどうは
ここて一そうへのこうとぷーみうーぷ給ぷこまぐばーやこの

曽我物語 12冊 寄別13-17 11-023
国立国会図書館

ひんなぎやうぎはてまことうちうみてこと
この世ん女れるすんぢやうじやのまんどうりはひん
女れ一ちうとぢつてんくうはけるなるぢんざーとも
げまーんくはくとあるせーれんぢーとちてこと
ろうもりぢくつあぜんれんきちよぎりあうまこ
ぢうんとうまーくてどのくいはあてうりたり
くくうーあーくろいぢ海ちりのちうはまうりぢー
りとかんぢんぐづーもスナ命ぎあごりあこてまうま
なんぢぢーくうぎにまーくてなぐさこぢんなどく
かうりてゆこちうぎうーやうぢ祇ーくいうりあ
りうんぐもこれんくてのゆこあまよまい日かりこやうこん
ぬつてこんくてだい三年までんこーはぢーはあくてい

ぢこちなうぐーぢうーくーつまてまうぐーぢー
ぢまぐーくはぢとのはんぐーありがくこてこあ
ひうまんくてこぐーどひとうまちまーこそぢーく
うちわうまたくりぢーやうあてんぐんのあーひぢれを
祇ようこうりぢるはあうまたんぢんてんようこぐーこう
くれあとこちはあまはぢのはぢーはのぢーうの時ありぢーやうの
あぐなうこちはぢうーうよ命ぢーたりーあげさ
をなまりありぢあーこてこちぐーぢーで一をぐーよ祇
だうとねぐーふ河ぢこうりく国ちこんうぐーうあんこぐ
みこうりぢこてこまたーやうどのはあまうまぢーのを
こ電の市なうこぢーこうぢ祇あーくぐのことづきうぐーまを
ーこうぐーまぢうりまこざーこうぐーこうものこーこどなの

のぐしよなりみくまでさうまでどものうつのそてはさやう
だいのちんいきうちんあうらにはぜ命をのなるもや
おれりはのうちさいあ命ときむひとうどつりちらや
たうふとやうしびだりびとはりなくもれりのそ。
このうそはひをうぐらちちにちあうのことなり。
ほうくいきたうものはさやうぞんとなるそさやう
だいのことどをうーぢうこれまがうーやあびく
のこなるまぢれうさーめうれあくぢびんありうくぢう
ぢやう上人うくぢめでうこれありうーとちやうーぢーとみう
うべきうーこあやうにそれはなせりまし
くんせうーじやうれはりるり
はうくきんかのうものぢーやーもうぢどうまいはまうくんだ。

曽我物語 12冊 寄別13-17 11-025 国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　11-026
国立国会図書館

か
12
60

八

世にこうしるゝ祢よりひてをさうべゝそせうめ
いこうきんごうとなづめゝ祢ぢめをそのに社とそゝまる世
と云ふとなづくゆきんありくりぢれくらうのうざ
やう上人とゆうこんこゝ寺こうとゝへねざうんめ
とこうぢりてゝ月廿八日まる祢どうこうやうぐゝ彦くの
りうゝいをさくぢうゝとにこゝぢをゝこりゝしの天の
たくうひゝてゝ仏果を世うどうゝ祢人の夢れみくゝぐ
うゝこゝたいゝりりゝ色ゝれゝば祢よ彦ゝこれうゝ世てさ
ゝ祢りうれゝぢゝゝぢゝうゝひうゝとうゝ今を世を国を
国のゝゝもゝぐゝゝゝめゝとゝこゝびゝよゝぢゝめゝゝりうゝ

曽我物語卷第十一終

曽我物語 12冊 寄別13-17 11-027
国立国会図書館

曽我物語　12冊　寄別13-17　11-028
国立国会図書館